

## 第11号様式の5（第5条関係）

## 政務活動記録簿（広報紙の発行・発送等）

会派・議員名 川口 信

| 年 月 日                       | 2023年 10月 20日 他                                     |             |          |           |
|-----------------------------|---|-------------|----------|-----------|
| 表題と発行部数                     | 川口信 奈良県議会活動報告書 2023年夏号 vol.1 16,000部                |             |          |           |
| 対象者                         | 主に御所市   |             |          |           |
| 配布方法                        | ポスティング、新聞折り込み                                       |             |          |           |
| 発行目的                        | 奈良県政および奈良県議会における取組等について、広く市民に広報し、意見を募集するため。         |             |          |           |
| 按分率の説明                      | 表面：プロフィール欄の写真と説明<br>裏面：その他の取り組み を除く 91.0%           |             |          |           |
| 内容                          | 会派、所属委員会について<br>県議会本会議、委員会での質疑応答についての報告<br>議員活動について |             |          |           |
| 編集・制作・<br>発送等に要した<br>経費     | 項目  | 支払先         | 金額       | 金額の積算     |
|                             | デザイン<br>制作費   | 池田出版<br>印刷社 | 195,000円 | 16,000部 2 |
|                             | 印刷費   | 池田出版<br>印刷社 | 296,000円 | 16,000部 2 |
|                             | ポスティング費   | 池田出版<br>印刷社 | 13,065円  | 2,010部 2  |
|                             | 消費税   | 池田出版<br>印刷社 | 50,406円  | 2         |
|                             | 振込手数料   | 南都銀行        | 880円     | 3         |
|                             |   |             |          |           |
|                             |   |             |          |           |
|                             |   |             |          |           |
| 合計 555,351円 ※91%充当 505,368円 |   |             |          |           |
| 備考                          | 添付資料：広報誌  |             |          |           |

注 発行した広報紙を添付してください。

書求請

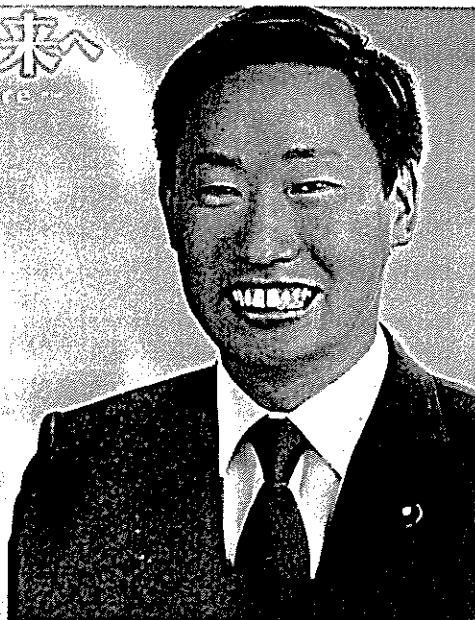
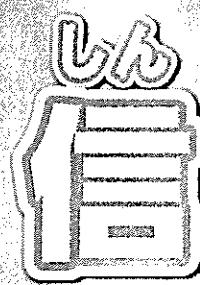
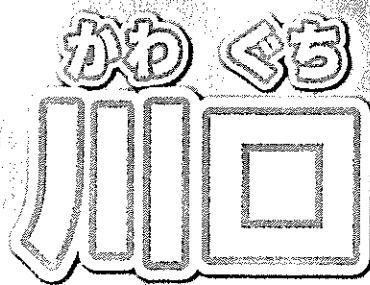
信員會議會堂

2023年7月28日

下記の通り御請求申し上げます

下記の通り御請求申し上げます

## 奈良県議会議員



## ごあいさつ

4月9日に投開票が行われました奈良県議会選挙におきまして、皆様からの温かいご支援のお陰様で、11期務めた川口正志(祖父)の後継として初当選させていただきました。1年生議員として、皆様からの負託をいただきましたことに身が引き締まると共に、ふるさと御所市をはじめとした南部東部振興、奈良県の発展のために全力を尽くす所存でございます。

奈良県政においても山下知事に交代と

なり、一部の予算が執行停止となったことや、奈良県議会においても、全議員の平均年齢が62歳から52歳に若返るなど、大きな変化が生じております。御所市・奈良県ともに少子高齢化、人口減少、災害対策等の課題は山積みですが、国・県・市を結ぶパイプ役として、連携を密に行い、「信じられる未来」を目指して、若さを前面に出しながら固定概念にとらわれず、課題解決に努めてまいります。

今後ともご指導ならびにご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## ▶会派について

自民党会派が15年ぶりに1本化され、無所属3名を加えた計22名で新会派が結成されました。会派は議会内で活動をともにする議員のグループを指し、無所属で活動している私は「自由民主党・無所属の会」に入りました。奈良県会議員は43名입니다ので、最大会派となりました。本会派では当選回数に関係なく、時代にあった自由闊達な議論を行い、「開かれた奈良県議会」を目指してまいります。

## ▶所管団体について

常任委員会は「建設委員会」に配属となり、副委員長の職をお預かりしました。本委員会は県士マネジメント部、水道局および収用委員会の所管に属する事務に関する事項を所管しており、インフラ整備や災害対策、水道に関する内容について議論しています。建設委員会として、5月29日に開催されました奈良県治水砂防協会の総会に参加しました。7月下旬には県内視察も実施しました。県内視察については、次回報告いたします。



建設委員会の副委員長に就任しました



建設委員会の様子

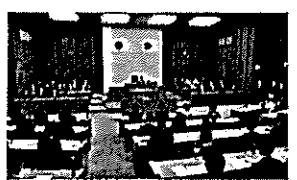
## ▶5月臨時議会・6月定例議会報告

5月22日から24日に5月臨時議会が開催され、議長に岩田国夫議員(天理市選出)、副議長に池田慎久議員(奈良市・山辺郡選出)が選出されました。その他、各議員の常任委員会配属が決定しました。

6月定例議会の代表質問と一般質問では、主に山下知事就任後、令和5年度の予算執行査定(予算を執行するかしないかを決定するための査定)で予算執行停止となつた事業に対する論戦が繰り広げられました。(令和5年度で執行停止となつた事業費は約70億円、将来的の総事業費は4,730億円)



議会での議席番号は2番になりました



奈良県議会の様子

御所市に直接関わる「御所IC工業団地の整備事業」については予算執行査定の結果、今後の企業誘致の見通しが明るいことや奈良県全体の企業誘致に対する積極的な取り組みが必要であることから、予算通り執行されることになりました。今後、御所市の雇用創出につながる重要な工業団地整備に向けて精一杯活動してまいります。



## プロフィール

1989年2月27日 御所市大字柏原 生まれ  
平成13(2001)年 緑所市立城上小学校 卒業  
平成16(2004)年 奈良県立中学校 卒業  
平成19(2007)年 奈良県立高等学校 卒業  
平成21(2009)年 奈良大学 先端理工学部 卒業

## 所歴

奈良県中小企業連合会 理事  
こふれ21(企業連・中企連若手経営者会)  
一般社団法人 楽園青少年会議所山口(顧問)  
ダイドードンゴ杯少年野球大会 副会長



各種SNSで情報発信中です



「自由民主党・無所属の会」では、先輩議員から主として予算執行停止に至った経緯や今後の対応、ならびに予算執行停止となった事業に関する代表質問・一般質問を行いました。その中で、南部地域での事業である大規模防災拠点(五條市)、奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた検討(橿原市)の2点について触れたいと思います。

### 大規模防災拠点建設について

山下知事は、奈良県としての大規模防災拠点は他府県での既存施設(伊丹空港や南紀白浜空港など)の活用を検討したいと発言されております。

五條市での大規模防災の整備は南部地域振興と合わせて、県民の命と財産を守る重要な事業であると考えております。奈良県として平成23年に発生した紀伊半島大水害、今後、甚大な被害想定がされている南海トラフ地震や奈良盆地東縁断層帯地震などを考慮し、奈良県内での防災拠点の整備は必要な事業ではないでしょうか。

御所市としても隣接した五條市に大規模防災拠点があれば、甚大な災害が発生した際に大きな助けとなります。本事業は総事業費の約7割が緊急減災・防災事業債(国庫支出金)であり、事業見直しを行う場合、国や近隣県とも協議しなければならない事業です。1ヶ月余りの短期間で予算執行停止を決定されたことについては、非

常に残念です。

山下知事からは関係各所との協議の上、必要性が認められた場合、改めて予算を執行する可能性も示唆されております。今後も、「自由民主党・無所属の会」として本事業の必要性を訴えていきたいと考えております。

### 奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた検討について

山下知事は、予定されていた橿原市等に新たなスポーツ施設の整備を行わず、奈良県内の既存施設の改修、ならびに他府県での既存施設を活用し、団体に向けた準備を進めたいと発言されております。

奈良県の大型スポーツ施設は老朽化が進んでおり、他の都道府県と比較した場合、スポーツ施設の整備状況についても低い水準です。2031年に橿原市で開催される国体を契機として、奈良県として新たなスポーツ施設を整備することにより、県民のスポーツ振興、県土の均衡ある発展、健康長寿の実現などに取り組む必要があります。

ると考えます。本事業に対して、期待を膨らましていただいている子どもたちやスポーツ関係者はたくさんいらっしゃると思います。今一度、将来を見据えた際に、県内では既存施設の改修のみで良いのかを深く議論しなければいけません。

山下知事からは、新たなスポーツ施設の整備について団体に間に合わせることを前提とせず、候補地や規模を十分考慮した上で検討する余地があるともおっしゃっています。来年までには国体会場を決定する必要があるため、早急に対応策を奈良県として示す必要があります。

令和5年度予算執行査定  
結果の詳しい概要はこちら



また、6月定例議会にて追加の補正予算が審議され、国庫支出金を最大限に活用して財政負担を抑制しつつ、物価・エネルギー価格高騰への対応、子ども・子育て支援、防災・減災対策の加速、新型コロナウイルス5類移行後の対応など県民皆様の生活と事業者を強力に支援するとともに、安心と安全の確保等に重点的に取り組むことが可決されました。

令和5年度6月補正予算の  
詳しい概要はこちら



田原本町役場 意見交換会



まほろば健康パーク現地調査

### 予算執行停止について

予算執行停止となった事業の勉強会、現地視察や意見交換会などを行い、現地に足を運ばなければ分からぬ課題について確認しました。今後も各自治体と連携しながら、山下知事が表明されました各事業の予算停止、見直しに対してしっかりと議論してまいります。

### 子ども食堂の支援

奈良オープンプロゴルフ会より、6月15日から17日に開催されました第24回奈良オープンゴルフ選手権大会でのプロアマ大会で募ったチャリティー募金を奈良県地域貢献サポート基金に団体支援寄付していただきました。

経緯としては奈良オープンプロゴルフ会の木本代表、前田前代表から「子ども食堂の取り組みに協力したいがどうすればよいか」という相談をいただき、奈良県が制度設計している地域貢献サポート基金を



寄附受領及び  
お礼状贈呈式

奈良テレビで取り上げていただきました

紹介させていただきました。その中で、基金に登録されている特定非営利活動法人フードバンク奈良に寄付いただく運びとなりました。引き続き、スポーツを通じて地域貢献に繋がる取り組みを奈良県政として後押ししていきたいと考えております。

※ 寄附金額:449,000円(寄附金額の一部(5%)は基金制度の推進に奈良県が活用し、426,550円を県から団体に対して助成します。)

### その他の取り組み

- ▶ 議会改革推進会議
- ▶ 各議員連盟への参加
- ▶ 防災気象講演会に参加
- ▶ 各総会や行事に参加
- ▶ 個別相談対応



奈良トライアスロンフェスタ  
(日朝議連として参加)



学童野球軟式大会  
始球式



日頃の街頭活動

### 大雨被害に伴う対応

6月上旬の大雨により、奈良県内で大きな被害が発生しました。御所市内でも曾我川の氾濫、床下浸水、土砂崩れ、県道309号線(旧道)の倒木に伴う通行止めなど、各地で多大な被害が発生しました。このたびの災害により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

奈良県・御所市の関係窓口と連携し、現地での調査や聞き取り等を行い、早急な復旧活動に努めました。しかし、被害の爪痕が残っており、復旧に至っていない箇所もあります。

復旧対応、再発防止対応について今後も継続的に取り組んでまいります。

## 第11号様式の5（第5条関係）

## 政務活動記録簿（広報紙の発行・発送等）

会派・議員名 川口 信

| 年 月 日                            | 2024年1月22日   |             |           |          |
|----------------------------------|--|-------------|-----------|----------|
| 表題と発行部数                          | 県政報告 Vol.2 2024年新年号  |             |           |          |
| 対象者                              | 主に御所市  |             |           |          |
| 配布方法                             | 新聞折り込み、ポスティング、郵送   |             |           |          |
| 発行目的                             | 奈良県政および、奈良県議会における取組等について、広く市民に広報し、意見を募集するため。また、地域での活動を報告するため。  |             |           |          |
| 按分率の説明                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新年のご挨拶、後援会会長の挨拶</li> <li>・その他の取り組み（ラグビーフェス・秋祭り・マラソン大会）</li> <li>・スポーツ振興に関する活動報告</li> <li>・プロフィールのうち、経歴と所属<br/>を除く 71.9%</li> </ul> |             |           |          |
| 内容                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員活動について</li> <li>・定例議会に関する報告</li> <li>・建設委員会での活動報告</li> <li>・スポーツ振興に関する活動報告</li> </ul>  |             |           |          |
| 編集・制作・<br>発送等に要した<br>経費          | 項目   | 支払先         | 金額        | 金額の積算    |
|                                  | デザイン<br>制作費  | 池田出版<br>印刷社 | 210,000 円 | 4        |
|                                  | 印刷費  | 池田出版<br>印刷社 | 466,520 円 | 21,400 部 |
|                                  | 新聞折り込<br>み費  | 池田出版<br>印刷社 | 93,310 円  | 16,000 部 |
|                                  | 消費税  | 池田出版<br>印刷社 | 76,983 円  | 4        |
|                                  | 振込手数料  | 南都銀行        | 880 円     | 5        |
|                                  |  |             |           |          |
|                                  |  |             |           |          |
|                                  |  |             |           |          |
| 合計 847,693 円 ※71.9% 充當 609,490 円 |  |             |           |          |
| 備考                               | 添付資料：広報誌   |             |           |          |

注 発行した広報紙を添付してください。

書 求 請

信樣四

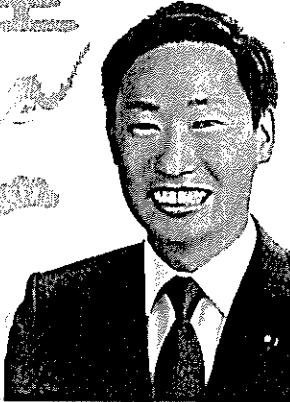
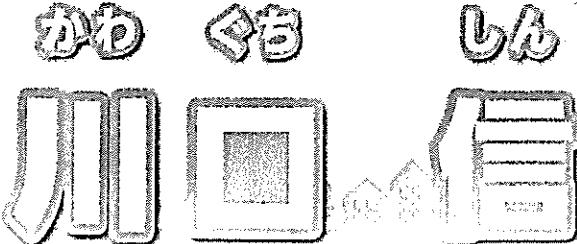
2023年2月15日

下記の通り御請求申上げます

T9150001000182

株式会社 池田出版  
〒631-0806 奈良市宝来3丁目1番10号  
TEL(0742)44-0972

奈良県議会議員



新年あけましておめでとうございます。初当選させていただいてから、はや9ヶ月が経ちました。定例議会においても、12月に初めて一般質問を行い、議員活動を邁進している所存でございます。この1年間を振り返ると、コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類に変更となり、コロナ禍前の経済活動が本格的に戻ってきております。県内においても、観光客数が回復し、各地で祭事も再開されており、徐々に賑わいが戻ってきております。奈良県政においては、16年ぶりに知事が変わり、日本維新の会公認の山下真知事が誕生しました。大型事業の予算執行停止・見直しや高等学校授業料等の実質無償化の制度案が提示されるなど、大きな変化が起きております。辰年は活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。私自身、若さを生かして、大きく成長できる1年にしたいと考えております。新年が皆様にとって、健康、幸福に満ちた素敵な1年になりますように心から願っております。

川口信

川口信議員会議員  
山下真知子議員

市民の皆様、後援会の皆様には清々しい気持ちで新年をお迎えのことと存じます。本年が皆様にとって、健康と幸福に満ちた年となります事を心より願っております。

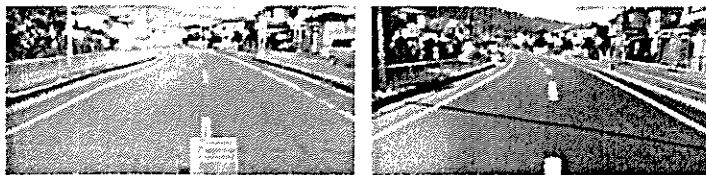
日頃は川口信議員の政治活動及び後援会活動にご理解、ご協力いただいております事、心より御礼申し上げます。おかげで川口信議員は順調に議員としての実績を積み重ね、地域の課題、ニーズに真摯に向き合い、住民の声の代弁者として又、県と市のパイプ役として地域の発展、福祉向上に取り組んでおります。今後の活躍もさらに期待しているところです。

後援会としても川口信議員とともに地域の発展のために目標を共有し、共に努力し、共に成長していくことで活動のサポート、バックアップをより強固なものとしてまいりたいと思います。どうか皆様、今後とも引き続きご支援、ご協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## 議員活動について

### 県管轄の道路や河川の改善

地元の皆様から、ご相談いただいている県道や河川の改善について、高田土木事務所の担当者と相談しながら対応を進めております。奈良県内の道路整備率は全国最下位の状況であることから、山下知事も大きな課題であると認識されており、2024年度以降の予算増額についても言及されております。引き続き、関係各所と連携してインフラ整備を進めてまいります。



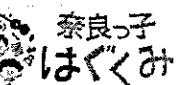
一例：県道柳羅線補修工事（左：補修前 右：補修後）

### 子育て世帯の応援

奈良県では子育て世帯を応援するため、電子割引クーポンを使って奈良県産品や子育て関連グッズを取り揃えたオンラインストアで買い物ができる、「なら子育て応援団」奈良っ子はぐくみキャンペーンを実施しており、その内容を私のブログで紹介したところ、大きな反響がございました。2024年2月22日まで電子割引クーポンの申請を受け付けておりますので、是非ご利用ください。

**注意！** 電子割引クーポン取得のためには、奈良っ子はぐくみアプリから「なら子育て応援団」への登録が必要です。  
これまで登録していただいている方も再度登録が必要です。

※ 奈良っ子はぐくみキャンペーンストアに関する  
川口信のブログはこちら



### その他の取り組み

- ▶ 議会改革推進会議
- ▶ 南部振興議員連盟、ヒューライツ議員団等の活動
- ▶ 各総会や行事に参加
- ▶ 個別相談対応

ヒューライツ議員団  
で人権課題に取り組んでおります

御所ラグビーフェスティバルに参加しました



しまった秋祭りに参加

ママ42  
しらソーン大会に出場し

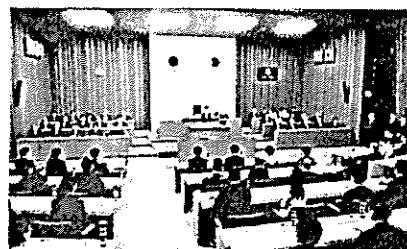
## 9月定期議会報告

## ▶ 9月一般会計補正予算について

約58億円の一般会計補正予算について、審議が行われました。6月初旬の豪雨や8月の台風等で発生した災害対応、物価・エネルギー高騰対策、県庁での働き方改革の推進等に関する予算が計上され、いずれも全会一致で可決されました。特に、6月初旬の豪雨では御所市でも甚大な被害が発生しているため、補正予算をしっかりと活用し、災害復旧対応を進めてまいります。

- ・災害への対応: 約45.5億円
- ・物価・エネルギー価格高騰対策: 約3.2億円
- ・県庁の働き方・職場環境の改革の推進: 約0.5億円
- ・その他: 約8.6億円

2023年度9月定期議会提出予定議案の概要はこちら→



「自由民主党・無所属の会」では、2023年度の予算執行が中止、または見直しとなった事業の今後の見通し、行政文書の適正な管理、県内水道一体化等について代表質問・一般質問を行いました。

## ▶ 予算執行が中止、または見直しとなった事業の今後の見直しについて

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会については、既存施設の改修を進めていきたいという山下知事の方針に変わりはない状況です。奈良市にある鴻池陸上競技場や樅原公苑内体育館の改修については多額の改修費用が見込まれるため、各既存施設の改修費用や問題点等の洗い出しが完了でき次第、最終的な判断となる予定です。また、大規模防災拠点や大和平野中央田園都市構想では、県が購入した土地の維持管理費が合わせて毎年1億5千万円以上見込まれるため、見直し案の早急な検討が必要です。他会派からも、早急な代替案の提示を山下知事に求められていますので、当会派としても無駄な維持管理費の捻出が続かないよう、山下知事に対して対応を求めてまいります。

## ▶ 南部振興議員連盟 要望書について

県議会議員は、本会議や委員会のほかに、会派を超えて21の議員連盟を結成し、奈良県をさらによくするため、積極的に活動しています。その中で、奈良県南部地域の振興を進めるために活動しております「奈良県議会南部振興議員連盟(私を含む12名が加盟)」より、山下知事に対して要望書を提出させていただきました。

要望書の主な内容は、御所南インターチェンジ附近の道路整備についてです。県南部地域の玄関口といえる位置にある御所南インターチェンジは和歌山方面の乗り入れができないため、利用いただく皆様から多くの改善要望をいただいております。御所南インターチェンジのアクセス向上により、工業地や商業地としての魅力が高まることで、雇用の創出や移住・定住の増加に繋がり、県南部地域全体の振興が期待されるため、奈良県からも国に対し、特段の要望を行っていただきたいと考えております。

## ※ 要望内容 ※

- ①京奈和自動車道及び一般部の早期共用開始
- ②御所南インターチェンジの早期フルインター化
- ③暫定2車線での共用となつてゐる御所区間の早期4車線化



## ▶ 御所市の市民1人あたりの補助金額

御所市民の1人あたりの国の補助金額、県の補助金額は、2021年度に引き続き、県内12市の中でもトップクラスの実績を維持しました。さらに国・県とのパイプを深め、新庁舎移転事業や(仮称)御所IC工業団地の整備など、今後もふるさと御所の発展を目指していきます。

## ▶ 御所市の市民1人あたりの補助金額 県内12市ランキング

|        | 国庫支出金 | 県支出金 |
|--------|-------|------|
| 2018年度 | 1位    | 3位   |
| 2019年度 | 1位    | 5位   |
| 2020年度 | 1位    | 7位   |
| 2021年度 | 1位    | 3位   |
| 2022年度 | 1位    | 3位   |

12月に一般質問を行いました。次回発行のリーフレットにて、詳細を報告させていただきます。

# 建設委員会での活動報告

副委員長の後藤を率いている建設委員会(高田委員会)は、以下の活動を行いました。

## 1月議事録会

私は以下4点について質問を行いました。

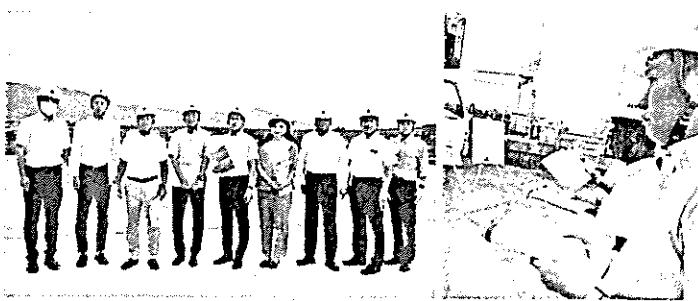
- 京奈和自動車道 御所IC~五條IC間のトンネル事故に関する原因、再発防止策について
- 京奈和自動車道 御所南ICフルインターチェンジ化の課題について
- 御所高取バイパス、円橋の進捗状況
- 6月初旬大雨被害に関連した各土木事務所の支援・再発防止策について

2023年度6月建設委員会質疑の動画はこちら→



## 7月県内視察

7月27日に県内視察を行い、道の駅『クロスウェイなかまち』(奈良市)、広瀬川河川改修(広陵町)、京奈和自動車道 新堂ランプ(橿原市)の計3ヶ所について現地視察を行いました。御所市に近い橿原北IC~橿原高田間(新堂ランプ)の橋梁工事については、2026年度春の開通に向けて工事が進められています。京奈和自動車



## 9月議事録会

私は以下4点について質問を行いました。

- 建設工事等に係る申請書類について
- 十津川村で実証実験したAIを活用した交通誘導システムの本格導入について
- 大阪・関西万博のパビリオン建設促進に向けた協力要請の文書依頼について
- 建設産業PRチャンネルについて

入札契約制度の改革について、今後、有識者委員会で検討が進められることになりました。入札契約制度の見直しについては奈良県の大きな課題であり、委員会内でも最適な入札方式について議論を深めていきたいと考えております。

2023年度9月建設委員会質疑の動画はこちら→



道の整備は企業誘致や地域産業支援、災害時の交通網活用等に大きく寄与しますので、全面開通に向けて尽力してまいります。

## AIによる道路システムの計画立案会

8月29日に十津川村の国道168号線にある災害復旧工事現場で、片側交互通行をAI搭載したシステムが交通誘導する実証実験の現場視察を行いました。片側交互通行では、通常3名の警備員が必要となります。AI交通誘導システムでは、1名のみでのオペレーションが可能です。また警備業が携わる工事現場での交通死亡事故は年間30~40件程発生しておりますが、システムの活用により、そのリスクの大幅な低減が見込まれ、より安全な交通誘導警備が可能となります。さらに、警備員の過酷な労働環境改善や人手不足の解消などにつながることが期待されます。本格的に導入されている都道府県もありますので、今後、奈良県内全域で導入が進むように尽力していきたいと考えております。



## 11月県外視察

11/21~22の2日間、福岡県庁、佐賀県庁、SAGAアリーナ、熊本県防災センターに赴き、県外視察を行いました。主に防災、河川対策、国スポーツ施設整備、広域防災拠点に関して各県での取り組みを伺いました。

緊急性が高い災害が発生したときの初動対応や防災センターでの指示系統、広域防災拠点の在り方、国スポーツ開催以降のスポーツ施設の活用方法など、様々な知識を深めることができました。



## スポーツ振興に関する活動報告

## 第1回川口杯ゴルフ大会

第1回川口杯グラウンド・ゴルフ大会が、9月28日、御所市運動公園にて開催されました。記念すべき第1回目ということで優勝カップが新調され、光輝くカップを見た皆さんのやる気もさらに増しているようでした。毎回主催いただいているゴルフ愛好会の会員様の平均年齢は、なんと85歳! ご高齢にもかかわらず、ボールを追いかけて走ったり、50m先のホールポストを目がけて思い切りスイングしたりと、皆様とてもお元気で、何より会話と笑顔があふれる和やかな時間となりました。身体を動かし、地域の方同士が関わり合える場や機会をつくることは、地域の活性化につながると感じる時間でした。

尚、今大会の成績は次の通りです。

**優 勝:**吉村和義様

**準優勝:**松田江美子様

**第3位:**中田薰様

**第4位:**山本峯子様

**第5位:**梅田裕友様

おめでとうございます!



## トゲートボール大会

10月3日、御所市栗阪のゲートボール場にて、第1回川口杯ゲートボール大会が開催されました。朝方は少し肌寒くはありましたが、参加された皆様におかれましては万全の状態で試合に臨まれていました。昨年に引き続き、私もスタッフ兼プレイヤーとして参加させていただきました。また、川口信後援会青年部のメンバー1名もプレーに加わり、先輩方にゲートボールのルールや戦術を手取り足取り教えていただきました。参加された皆様からは、「次回大会では世代間対決も行いたい」というご要望があり、今後世代間交流をより深め、生涯スポーツとしてのゲートボールが長く継続されていくためにも、ぜひとも実現させたいと考えております。

優勝は2組の皆様です。

メンバーは、

堀川実様・峰野シゲ子様

吉井ミユキ様・今西美恵子様。

おめでとうございます。



## ペタンク大会

11月28日、御所市ペタンク場(南十三)にて、第6回川口杯ペタンク大会が開催されました。私を含めスタッフ一同、皆様には温かく迎えていただき、プレイヤーとして試合にも参加させていただきました。前日に続き、大会当日も雨がちらついておりましたが、皆様の元気さと明るさのおかげで鬱々とした天候に勝る活気のある充実した大会になったことを大変うれしく思っています。また、それほどルールが複雑でなく誰でも気軽に楽しめるペタンクですが、たった一投で局面が変わる、非常に繊細で面白いスポーツでもあるということを改めて実感いたしました。

優勝は甲斐駿様・窪清様。

窪清様はなんと川口杯3連覇!

おめでとうございます。

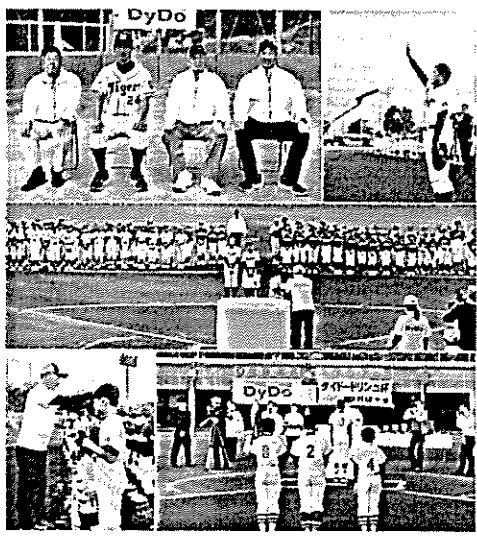


## 第21回ダイドリンコ少年野球大会

10月7日、第21回ダイドリンコ少年野球大会が開幕しました。近年の気候を考え、熱中症対策として初めて夕方から開会式を行いました。涼しい秋晴れの中、奈良県内の少年野球111チームが、新庄第一県民グラウンドに集結しました。ゲストに元阪神タイガースの桧山進次郎さんを迎えると、会場の熱気はさらに高まり、「桧山さん!」と、子どもたちの歓声があちこちから聞こえきました。

約1ヶ月にわたって開催された大会は、11月3日、ついに決勝戦を迎えました。白熱した決勝戦は、斑鳩少年野球部が浮孔小野球部にサヨナラ勝ちをし、5-4で第10回記念大会振り、2度目の優勝を果たしました。おめでとうございます!

試合結果等 詳細はホームページをご覗ください▶



## プロフィール

1989年2月27日 御所市大字柏原 生まれ  
2001年 御所市立柏原上小学校 卒業  
2004年 醍醐学園中学校 卒業  
2007年 醍醐学園高等学校 卒業  
2011年 早稲田大学 先進理工学部 卒業

奈良県中小企業連合会 理事  
こふれ21(企業連・中企連若手経営者の会)  
一般社団法人 横原青年会議所(JCI横原)  
ダイドリンコ少年野球大会 副会長



各種SNSで情報発信中です



## 政務活動記録簿（年会費負担）

会派・議員名 川口 信

| 年月日              | 2023年8月23日   |         |   |
|------------------|--|---------|---|
| 年会費名             | 奈良ヒューライツ議員団 2023年度 年会費 (R5.5月～R6.3月分)  |         |   |
| 相手方              | 奈良ヒューライツ議員団  |         |   |
| 年会費支払目的          | 奈良県の人権や福祉に関する政策の勉強のため  |         |   |
| 按分率の説明           | すべて政務活動  |         |   |
| 活動内容等            | <p>◆本会の活動内容<br/>・人権政策を中心とした政策研究、議員間の情報交換に係る活動</p> <p>◆本会の活動頻度<br/>・数か月に一度、勉強会を実施</p> <p>◆参加者の状況<br/>・奈良県議員、市町村議員等</p> <p>◆効果<br/>・県議会の活動における、今後の参考となった</p> |         |   |
| ※年会費支払いの効果を明記のこと |  |         |   |
| 経費               | 項目   | 金額      | 内容  |
|                  | 年会費  | 27,500円 | R5.5～R6.3の11か月分を充當<br>$30,000\text{円} \div 12 \times 11 = 27,500\text{円}$ |
|                  |  |         |   |
|                  |  |         |   |
|                  |  |         |   |
|                  |  |         |   |
|                  |  |         |   |
| 合計               | 27,500円（すべて政務活動費）  |         |   |
| 備考               | 添付資料：規約  |         |   |

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

## 奈良ヒューライツ議員団 規約

- 第1条 本会は、奈良ヒューライツ議員団と称し「人の世に熱あれ 人間に光あれ」の水平社精神のもとに活動する部落解放同盟奈良県連合会と連帯し、且つふるさと創生を柱とする活動を目的にします。
- 第2条 本会は、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃及び人権尊重をめざし、人権文化の政策推進につとめ、ふるさと創生のための経済と文化の構築をめざします。そのために政党会派の枠を超えて、議員相互の親睦をはかり政策研究・経験交流を深めます。
- 第3条 本会は、第1条・第2条の主旨に賛同する奈良県内の県・市町村議會議員ならびに元加盟議員の加入をもって構成します。加入承認は会員の推薦に基づき、定例会議で承認します。
- 2 本会の活動目的・主旨に反する行為、倫理を逸脱した行為をした加盟議員には退会を求めます。
- 第4条 本会は、その目的・主旨の会務活動の円滑な遂行のため、総会において下記役員を互選します。任期は1年とします。
- |       |    |        |     |
|-------|----|--------|-----|
| 1. 議長 | 1名 | 2. 幹事長 | 1名  |
| 3. 会計 | 1名 | 4. 幹事  | 若干名 |
| 5. 監事 | 2名 |        |     |
- 2 本会に加盟する議員が勇退した場合、本会の活動趣旨に沿った議員活動や本会の活動への功績を鑑みて、役員で協議の上、相談役への就任を要請します。
- 第5条 本会の定例会議は総会及び研修等を兼ね、年4回（2月・5月・8月・11月）開くこととし、必要に応じて臨時会議、役員会を隨時開きます。会議の招集及び総括は議長が行います。
- 第6条 ①本会の会費は年額次のとおりとする。
- |          |     |            |       |
|----------|-----|------------|-------|
| 1. 県議会議員 | 3万円 | 2. 奈良市議会議員 | 2万5千円 |
| 3. 市議会議員 | 2万円 | 4. 町村議会議員  | 1万円   |
- ②会計年度は2月1日より翌年の1月31日までとします。
- 第7条 本会の運営上の細則は内規とし、都度会議で協議します。
- 第8条 本会は、2002年2月15日より発足します。

【2005年度第1回定例会議（2005年5月10日）で一部改正】

【2019年度第1回定例会議（2019年5月31日）で一部改正】

【2023年度第1回定例会議（2023年7月14日）で一部改正】